

1 単元 古代国家の展開

2 大単元の目標

- 古代の律令国家形成の中における天皇・貴族中心の生活に関心をもち、彼らと律令政治との関わりについて意欲的に追求していようとしている。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- 律令政治の内容や意義，律令政治下での農民の負担や藤原氏の権力掌握について多面的・多角的に考察することができる。

【社会的な思考・判断・表現】

- 残された文物や貴族の暮らしなど関連資料を通して古代の律令国家における天皇と貴族・庶民の関係をまとめ，説明することができる。

【資料活用の技能】

- 古代国家では，東アジアとの深い関わりの中から中央集権のしくみが整えられ，大陸文化の影響を受けた国家・天皇中心の天平文化が栄え，その後に貴族中心の政治形態や国風文化が発展したことを理解することができる。

【社会的事象についての知識・理解】

3 生徒の実態

省 略

4 本時案

- 小单元 摂関政治と国司
- 目標

藤原氏が実権を握った摂関政治について知り、摂関政治が行われた後社会がどのように変化したか理解することができる。 (社会的事象についての知識理解)

- 本時の展開

学習活動	教師の支援・配慮事項	評価の観点と方法
1 前時の復習を するとともに本 時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平安京の全景を示すことによって前時に学習した貴族の生活を思い起こすことができるようにする。</li> <li>○ 藤原道長の肖像と和歌を提示し、道長について共通するイメージをもつことができるようにする。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     摂関政治のしくみと摂関政治が行われた結果社会はどのように変化したのか調べよう。                 </div>		
2 朝廷内で藤原 氏が大きな権力 を握った理由を 知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が自由に発言できるよう考える根拠となる資料を提示する。</li> <li>○ 「藤原氏の系図」より天皇と親戚関係であったこと「全国の荘園配置図」と「藤原氏の収入」から経済的基盤としての私有地（荘園）を多く持っていたことを確認する。</li> </ul>	
3 摂関政治につ いて確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 摂政・関白という基本的な歴史用語と摂関政治の意味をワークシートに記入することで理解できるようにする。</li> <li>○ ワークシートに記入できているかどうか机間指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 摂関政治の意味が理解できたか。(知識・理解)</li> </ul>
4 地方の政治の 様子について資 料をもとに理解 する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よくばりな国司 (今昔物語)」「訴えられた国司」の資料から当時の地方の様子を知ることができるようにする。</li> <li>○ 難解な語句についてはわかりやすく解説することによって当時の生活のイメージができるようにする。</li> <li>○ 資料から国司・農民の気持ちを自由にイメージできるようにする。</li> </ul>	<p>&lt;ワークシート&gt;</p>
5 貴族・国司・ 農民のそれぞれ の立場から当時 の社会への思い を考え、発表す る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4人でのロールプレイをすることによって貴族・国司・農民の気持ちを深く掘り下げることができるようにする。</li> <li>○ ロールプレイに参加できていない生徒については他の生徒がしっかり声掛けをするよう助言する。</li> <li>○ 次時は地方の政治の乱れから武士が登場する様子を学習することを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 摂関政治の後おこった社会の変化についてそれぞれの立場から理解することができたか。(知識・理解)</li> </ul>
6 次時の予告を 聞く。		<p>&lt;ワークシート&gt;</p>

